

2021年12月15日  
日本船主協会 海事人材部

## 「海事キャリア教育セミナー」への協力

日本船主協会では2008年7月より「人材確保タスクフォース(TF)」を結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

この度、2021年12月1日に鳥羽商船高等専門学校において開催された「海事キャリア教育セミナー」に協力しました。

本セミナーは、商船系5高専（広島商船高等専門学校、富山高等専門学校、弓削商船高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、大島商船高等専門学校）が取り組む「次世代の海洋人材の育成に関する事業」におけるサブプロジェクト「現役の海事・海洋人材によるキャリア教育」の一環として実施されたもので、当協会は連携機関の一つとして講演を行いました。

12月1日に行われた鳥羽商船高専での講演会には、マスク着用、検温実施、手指消毒等の新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた上で、商船学科の1～3年生が集まりました。日本の海運の概要、海技者（外航船員）の魅力、学生として頑張るべきことなどを図や写真を交えながら説明しました。

講演後は、「海技者となってから一番大変だったことは何か」、「自律運航船の技術が進んだ将来、船員の仕事内容はどのように変化していくか」、「学生時代どのような資格取得や勉強をしていたか」等の様々な質問が挙がりました。学生にとって、将来に向けてどう過ごしていくかを考える良い機会になったようです。

当協会の人材確保TFでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していきます。

鳥羽商船高専での講演の様子



挙手で応える学生たち



講演後に質問をする学生